

- クマ、イノシシ、シカ、サル等の害獣を追い払い、鳥獣被害を防ぎます
- 独立電源で、電源確保が困難な場所にも設置可能、メンテナンスもほぼ不要です
- 他の忌避装置(防護柵等)との併用により忌避効果が向上します

機器情報

➤ 機器の概要

オオカミの外観(光る2つ眼、揺動する首)、大きな音(威嚇する音: 50種類以上)をランダム再生、強いLED点滅光を発し、赤外線センサにて野生動物を感知して、装置を稼働し野生動物を威嚇、追い払い、食害等を防止する野生動物監視システムです。

➤ 使用目的

鳥獣被害に自治体、農家等へ、野生動物と人間のゾーニング管理のため、導入されています。

➤ 対象鳥獣

クマ、イノシシ、シカ、サル、小動物(センサ角度の調整により可能)

➤ 特長

赤外線センサによる熱感知で装置が稼働し、天敵の姿、威嚇音、強い光により追払い。太陽光発電とバッテリーで、電源確保の困難な畑の中などに、設置可能。メンテナンスもほぼ不要、移動も簡単です。電気柵、物理柵等との併用によって、忌避効果が向上。



導入実績

➤ 導入市町村

(北海道) 滝川市、南幌町、標茶町、
上砂川町、北見市、西興部村、
三笠市、池田町
(山形県) 山形市
(宮城県) 仙台市
(福島県) 国見町
(富山県) 小矢部市
(鹿児島県) 伊佐市

イニシャルコスト、ランニングコスト

➤ イニシャルコスト:

本体のみ 428,000円(税別)※令和8年1月現在
別途 付属品、作業費、交通費がかかります。
お問合せください

➤ ランニングコスト:

特に必要ありません

活用技術

赤外線センサによって、野生動物の接近を感知し、装置が稼働します。
トレイルカメラ等の併用で野生動物の忌避効果が確認でき、オンラインでも確認可能です。無線センサは増設可能で、大面積のほ場等で野生動物忌避が可能です。

問い合わせ先

企業名: 株式会社ウルフ・カムイ
所在地: 札幌市西区琴似1条1丁目3番12号206号
連絡先: TEL 011-624-5623
E-mail: info@wolfkamuy.com